

問合せ先

第十海上保安本部

警備救難部救難課長 三窪 (内線 3250)

TEL : 099-250-9800 (代表)

平成23年5月23日

第十管区海上保安本部

## ゴールデンウィーク安全推進活動期間中の事故発生状況及び

### ライフジャケット着用状況等調査結果について

(4月29日～5月8日の10日間)

標記期間中のプレジャーボート等の船舶事故及びマリンレジャーに伴う人身事故の発生状況等は、以下のとおりです。

- プレジャーボート等の船舶事故隻数は、3隻
- マリンレジャーに伴う人身事故者数は、4人
- プレジャーボート等の乗船者のライフジャケット着用率は、72%
- 釣り人のライフジャケット着用率は、45%

※ プレジャーボート等とは、プレジャーボート（モーターボート、ヨット、水上オートバイ等）及び遊漁船をいう。

※ マリンレジャーに伴う海浜事故とは、遊泳、釣り、磯遊び、スキューバダイビング、サーフィン等の海浜事故をいう。

#### 1 船舶・人身事故発生状況

プレジャーボート等の船舶事故隻数は3隻(前年4隻)、これに伴う死者・行方不明者数は0人(同0人)でした。

マリンレジャーに伴う人身事故者数は4人(同2人)で、死者・行方不明者数は2人(同1人)でした。また、人身事故のうち乗船中の事故者数は2人(同0人)、海浜事故者数は2人(同1人)で、死者・行方不明者は全員海浜事故者でした。

【別紙参照】

#### 2 ライフジャケット着用状況等調査

期間中、ライフジャケット着用状況の調査を実施したところ、その着用率は、プレジャーボート等の乗船者については72%、(前年78%)、釣り人は45%(同38%)でした。

携帯電話の所持率は、プレジャーボート等の乗船者88%(同91%)、釣り人79%、(同93%)でした。また、海中転落時に有効な防水型又は防水パック入り携帯電話所持率はプレジャーボート等の乗船者16%(同14%)、釣り人11%(同6%)でした。

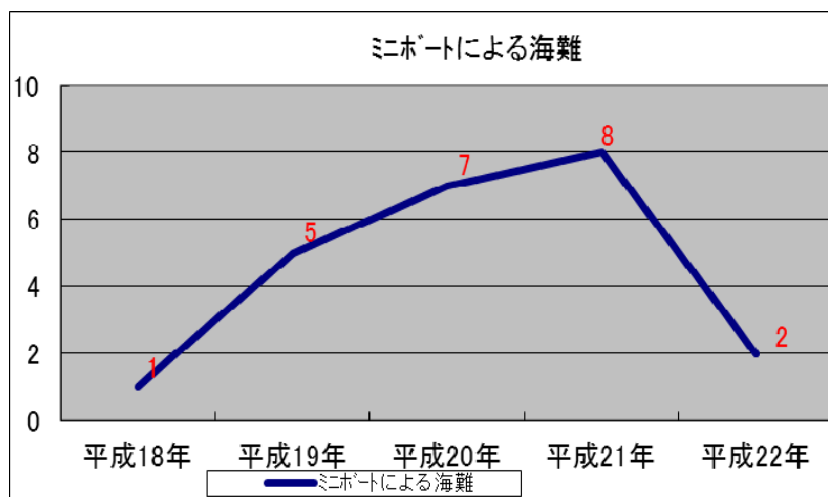
118番認知率は、プレジャーボート等の乗船者84%(同82%)、釣り人74%(同76%)でした。

## 1 船舶事故

(1) 過去3年間の推移 (単位:隻)

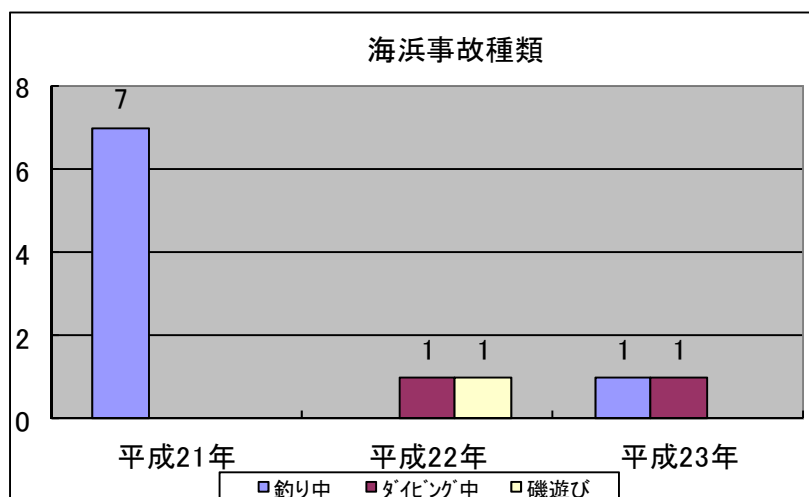
	21年	22年	23年
船舶事故隻数	4	4	3
死者・行方不明者	0	0	0

(2) ミニボートによる海難



## 2 海浜事故

(1) 海浜事故種別 (単位:人)



(2) 過去3年間の推移 (単位:人)

	21年	22年	23年
海浜事故者数	7	2	2
死者・行方不明者	6	1	2

※ H21年の死者・行方不明者6人全員が釣りによる事故(救命胴衣未着用)